

3. いなしき未来会議

(1) いなしき未来会議

■ 調査の概要

- ・対象者：無作為に抽出した 2,000 名の市民の中から参加者を募集
(アンケート調査に申込み用紙を同封)
- ・参加者：27 名 (20 代：3 名、30 代：5 名、40 代：7 名、50 代：2 名、60 以上：10 名)
- ・日時：平成 27 年 11 月 29 日 (日) 午前 10 時～午後 2 時
- ・場所：江戸崎庁舎 2 階会議室
- ・主テーマ：「いなしき未来会議～稲敷で豊かに暮らすために～」
- ・話合いの進め方
 - ①班構成：世代・居住地が混ざるように分けた 4 つの班で実施
 - ②話合い (1) 「稲敷の良いところ・不足しているところ」
(2) 「稲敷で豊かに暮らすために」
 - (3) 発表 (各班)

< 話合いの風景 >



話合い風景 (1 班)



話合い風景 (2 班)



話合い風景 (3 班)



話合い風景 (4 班)



発表風景



発表風景

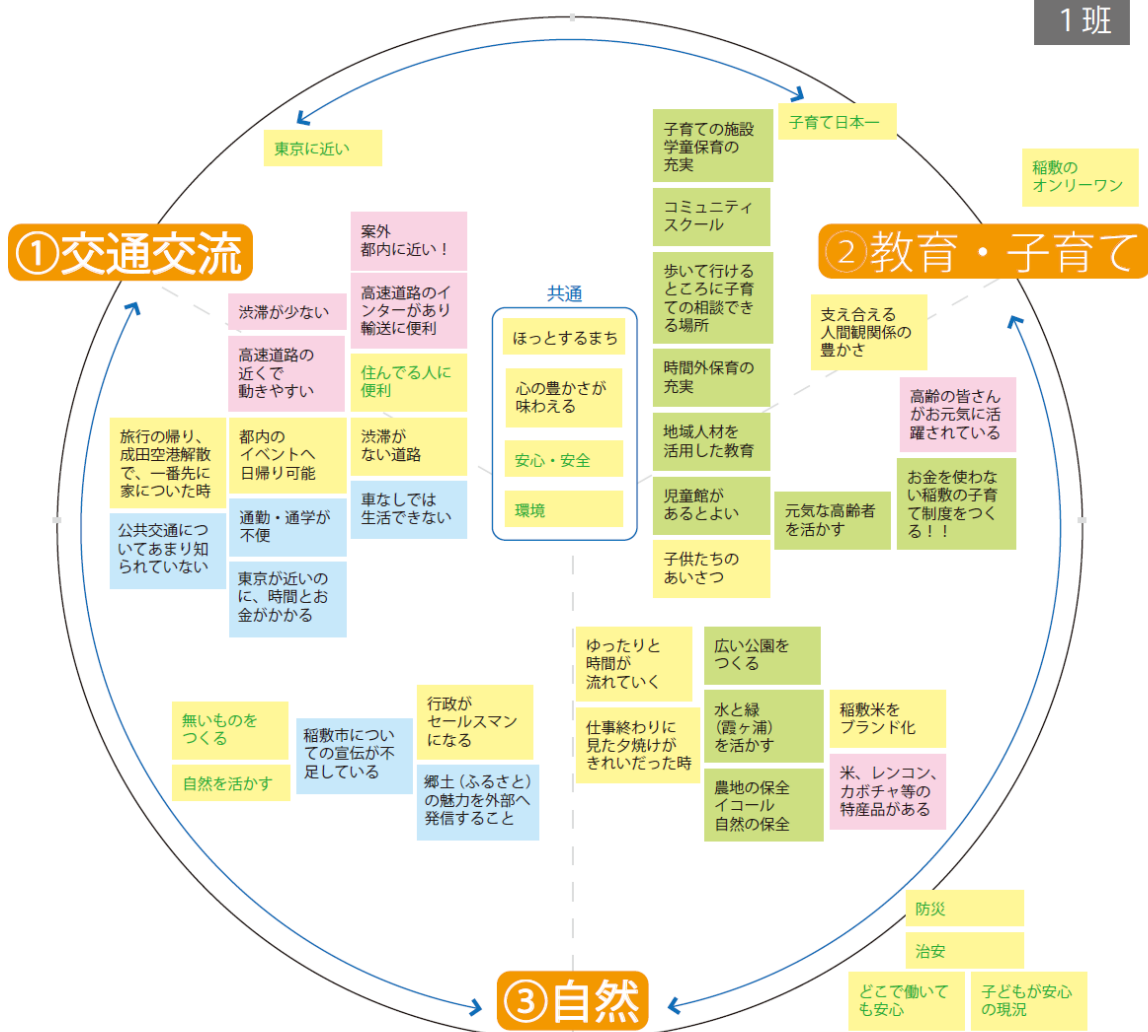
■ 「いなしき未来会議」による稲敷市で豊かに暮らすためのキーワード

稲敷で豊かに暮らすために大事な要素は
「コミュニティ」「資源 (食・自然)」、「子育て・教育」、「交通」

(2) いなしき未来会議の結果

1) 稲敷で暮らすために～10年後の「いなしきライフ」

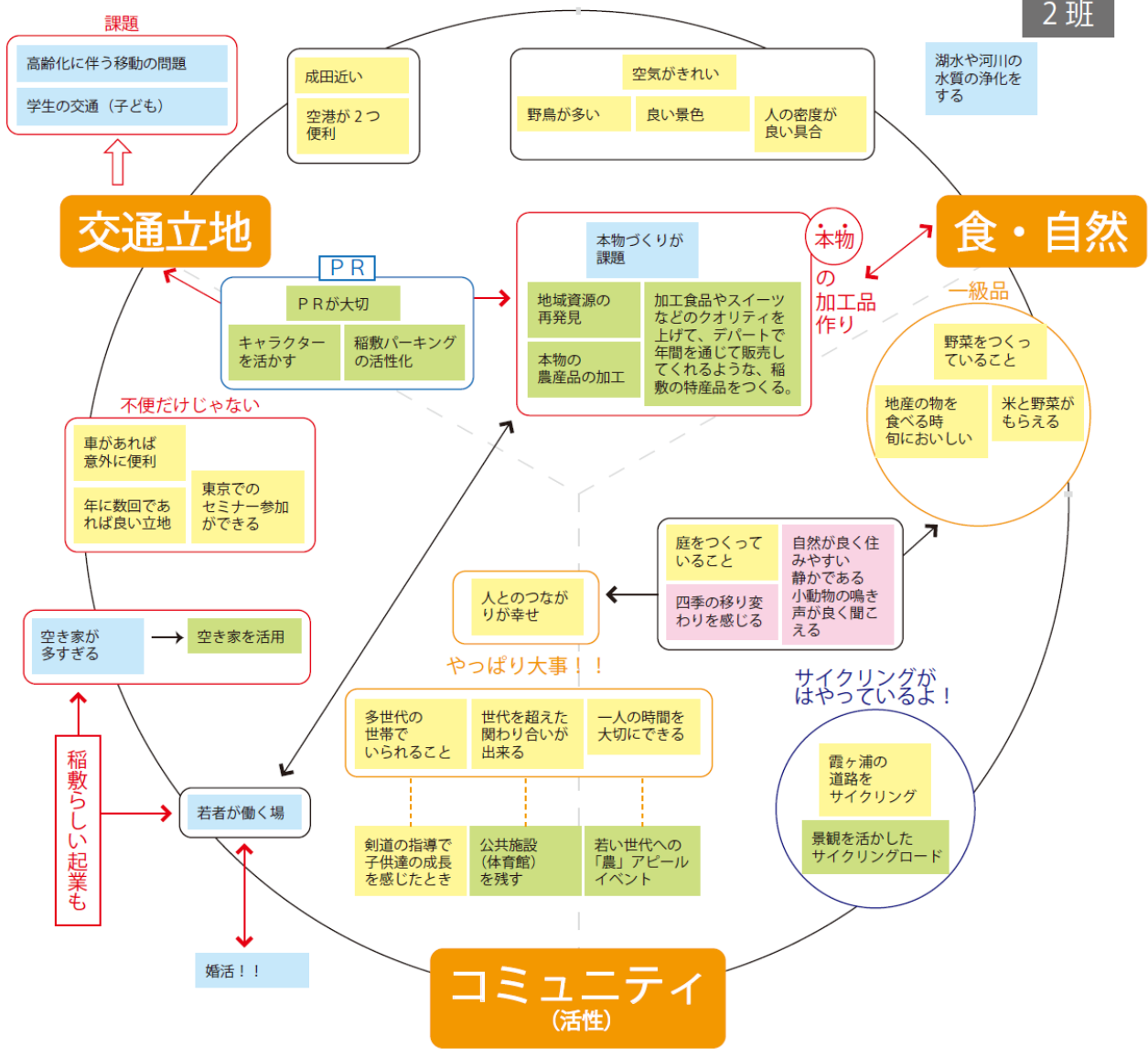
稲敷で豊かに暮らすために～10年後の「いなしきライフ」



①交通交流	稲敷で豊かに暮らすために、 <u>東京に近いことを活かすこと</u> が大切です
	なぜなら、 <u>人口流出せぐため、ほどほどに近い、ちょうどいいところ</u> だからです
	そのために、 <u>公共交通の充実を図る(バス)、都市部との交流の促進、情報発信</u> が必要です
②教育・子育て	稲敷で豊かに暮らすために、 <u>子育てと教育の充実</u> が大切です
	なぜなら、 <u>支え合う人間関係、少子化と子どもの健全育成、地域の力を活かした教育、総合学習の時間、キャリア教育(地域)、放課後の学習支援</u> だからです
	そのために、 <u>総合学習の時間、キャリア教育(地域)、放課後の学習支援</u> が必要です
③自然	稲敷で豊かに暮らすために、 <u>自然と共生すること</u> が大切です
	なぜなら、 <u>みんな稲敷が好きだから</u> だからです
	そのために、 <u>観光やイベント施設、産業の活性化、年間を通じて人が来るしくみ</u> が必要です

稲敷で豊かに暮らすために～10年後の「いなしきライフ」

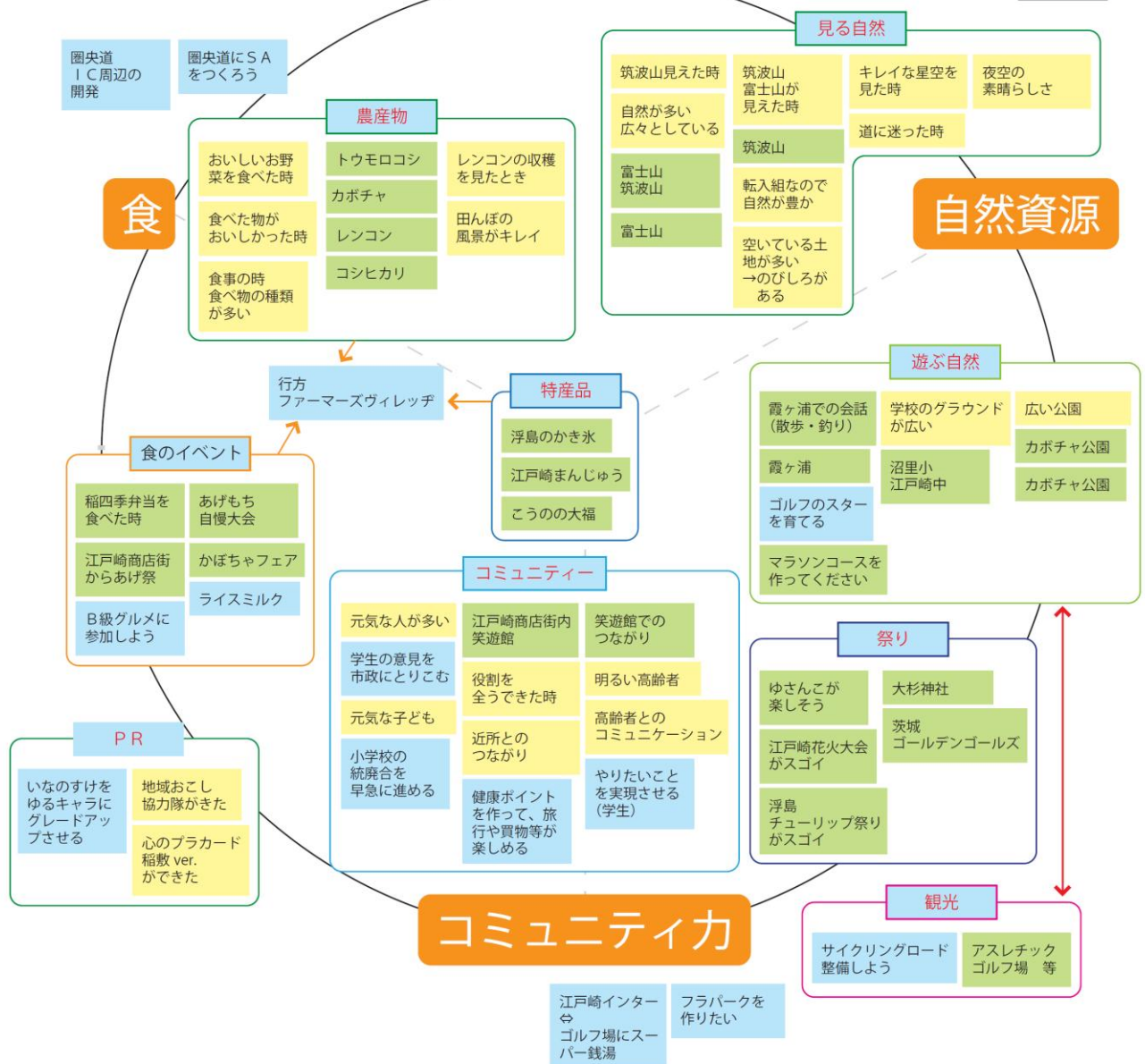
2班



稲敷で豊かに暮らすために、食材などの地域資源を上手に活用することが大切です
 なぜなら、お金(雇用)や地域を知ってもらう(PR)を進めることが大切だからです
 そのために、これらに取り組み“若者”を応援することが必要です
 一方、より豊かな暮らしをするために、本物の稲敷らしい“モノ”にすることが必要です
 なぜなら、地域の“自信”や“活力”につながるだからです
 私にも豊かな暮らしを実現させるために、稲敷のことについて積極的に関わります。

稲敷で豊かに暮らすために～10年後の「いなしきライフ」

3班



稲敷で豊かに暮らすために、（見る・遊ぶ・食べる） 恵まれた資源を守っていくこと が大切です

なぜなら、もったいない からです

そのために、稲敷市にある恵まれた資源の再認識・再利用 が必要です

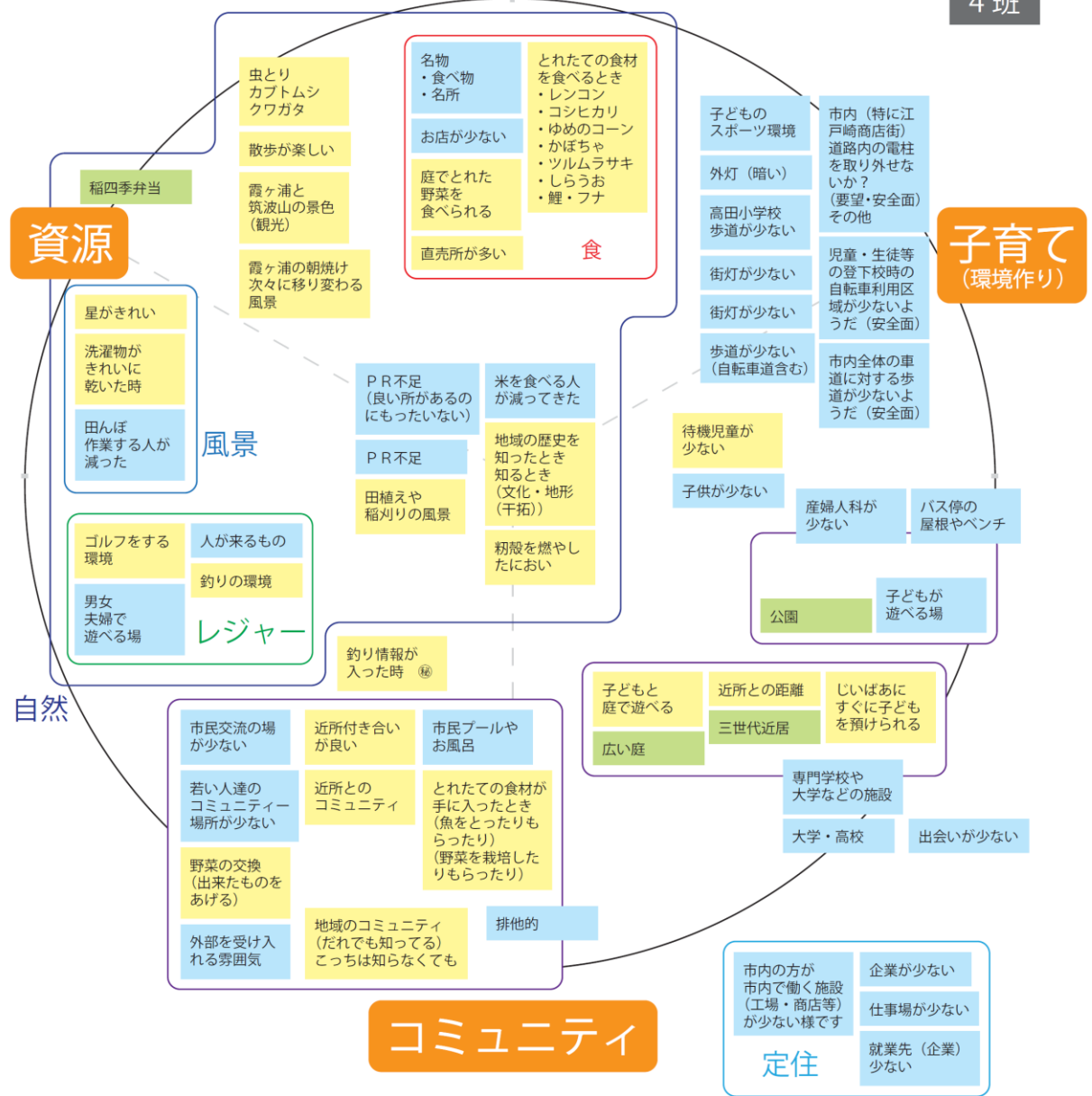
一方、より豊かな暮らしをするために、まず、稲敷市民が市のことをもっと知っていくことが必要です

なぜなら、市のことを知る機会が少ない からです

私にも豊かな暮らしを実現させるために、まず、一歩ふみだして「参加」してみることが できます

稲敷で豊かに暮らすために～10年後の「いなしきライフ」

4 班



内的

稲敷で豊かに暮らすために、 _____ 人・コミュニティ _____ が大切です

なぜなら、 _____ (次世代) 皆が安心して住み続けられる _____ からです

そのために、 _____ 交流の場 _____ が必要です

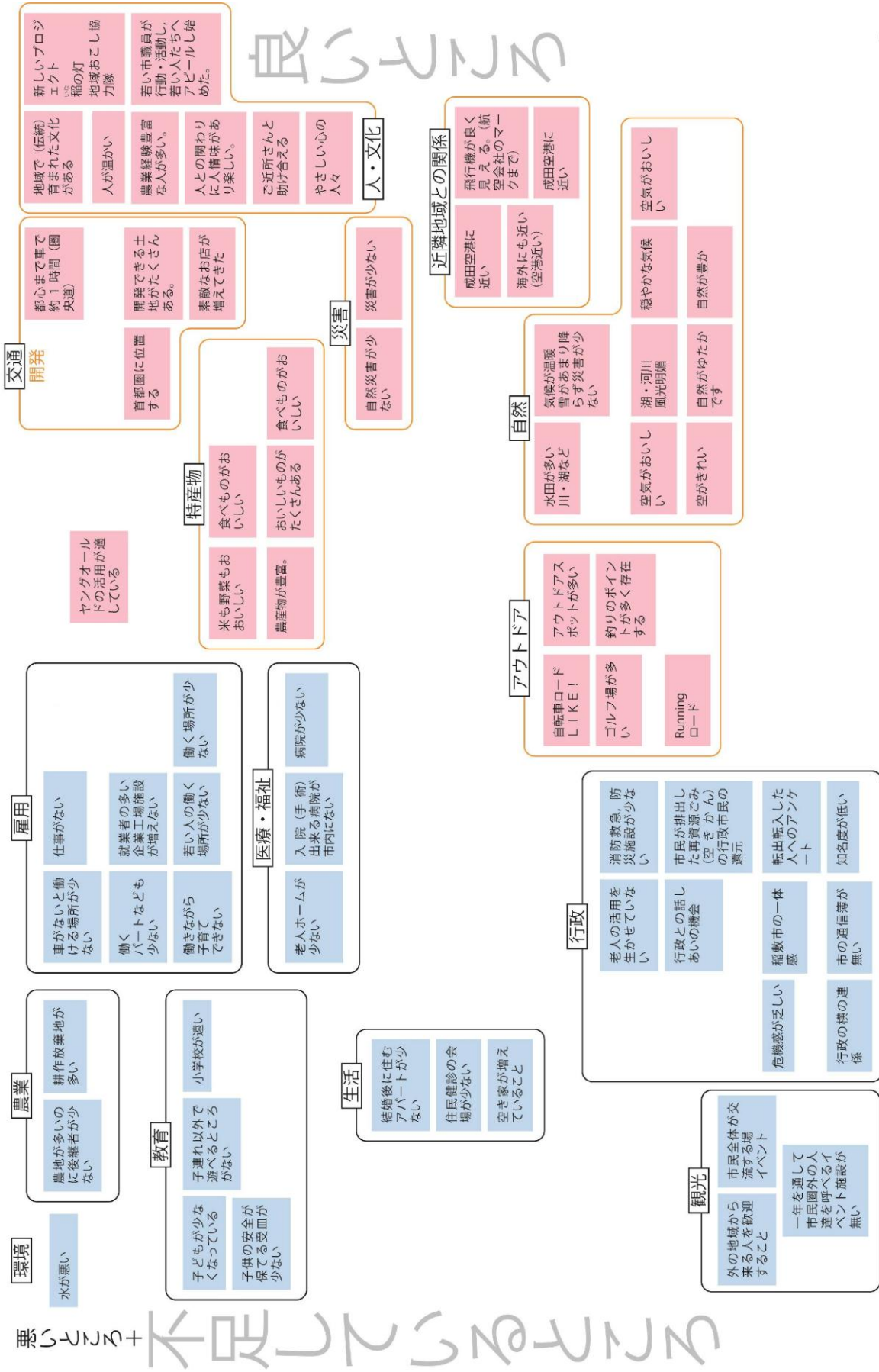
外的

一方、より豊かな暮らしをするために、 _____ 発信 _____ が必要です

なぜなら、 _____ 稲敷市の良さを活かすことが出来る _____ からです

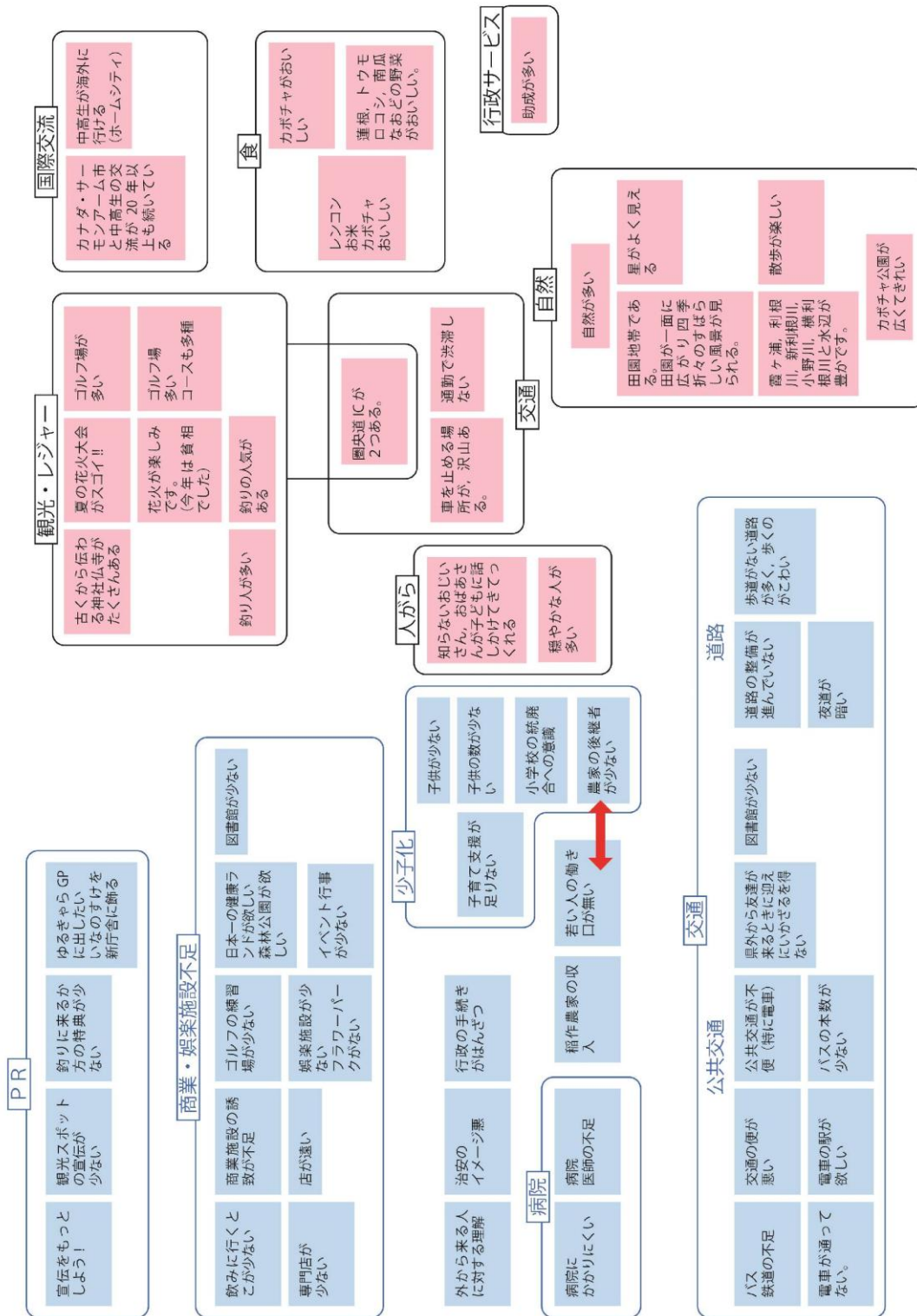
私にも豊かな暮らしを実現させるために、 _____ 知り合いに積極的に、 _____ フェイスブックやツイッター等で情報発信 _____ できます

2) 良いところ・不足しているところ



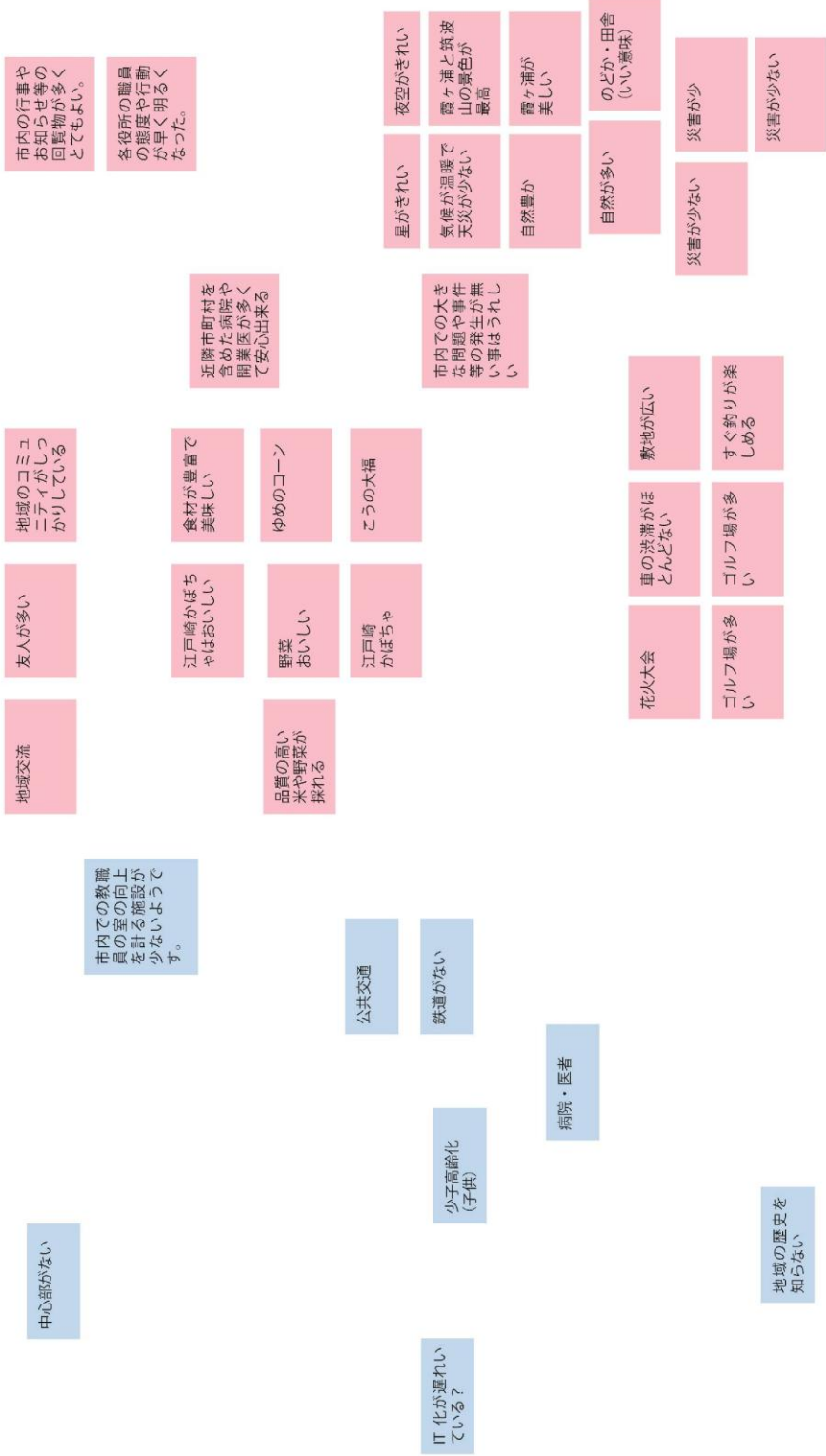
3班

良し〜する



不足して〜する

良いところ



4班

※検討過程で不足しているところ・良いところを別シートに移動している

3) 発表記録

10年後の稲敷市を考える「いなしき未来会議」～稲敷で豊かに暮らすために～

<1班>

Aさん：みなさん、こんにちは。では私たち一班の方から発表させていただきます。よろしくお願
いいたします。拍手ありがとうございます。私たちは、この前にいる六名プラス一名、一人
急用で帰ってしまったのですが、この七人で考えてみました。ぶっつけ本番の発表なので聞
きづらかったら申し訳ないです。私たちは稲敷で豊かに暮らすための10年後の「いなしき
ライフ」として、三つのポイントで考えています。そのポイントの共通としては、ほっとす
る町、心の豊かさを味わえる町、ということです。安心で安全な環境を作ることが一
番大事なことだと思っています。その三つのポイントの一つとしては、まず一つ目。「交通と
交流」です。ここに色々ポイントがあり、その辺りをまとめたのがこの辺りになります。公
共と交通としては、まず稲敷で豊かに暮らすために、稲敷はほどよく東京に近いのではない
かと思います。田舎過ぎずに東京に近い為、東京に近いことを活かす方がいいのではない
かと思っています。何故なら、そうすることで人口流出を防げるからです。ほどよく近い、
ほどよい所にあるという稲敷らしさを利用してやりたいと考えています。そのためには公共
交通機関を充実させ、都心部との交流の促進を図り、ほどよく近いということをもっと情
報発信して、稲敷らしさを出していったらいいのではないかと、というのが一つ目のポイント
です。二つ目です。「教育と子育て」について話し合いました。稲敷で豊かに暮らすためには、
やはり子育てと教育の充実が大切だという話になりました。支えあう人間関係や少子化対策
の話をし、地域の力を活かす取り組みをすることや総合学習の時間が必要です。子育ての充
実を活かすために、稲敷は最初の説明にあった通り少子化が進み子供が少なくなっている代
わりに高齢の方が増え、二倍になっていることを考えると、高齢の方のそれまでの人
生経験を活かした取り組みなどをしていくように世代教育をしていくこと、総合学習をする
時間を子供たちに持たせる教育をすること、そして放課後の学校支援をさせていきたいと考
えています。そして三番目は、やはり「自然」です。ふと感じる稲敷の良い所を聞いたとき
に、私たちのグループの中では自然のことがたくさん出ました。ですので、そこを活かして
いきたいというのが、一番のポイントです。

Bさん：私たちのグループでは自然を共有していくことが、豊かな暮らしをしていく上で大事だ
という話になりました。ここにいる私たちも、ここに集まった皆様も稲敷が好きなのだ。稲
敷が好きで、ここに住んでおり、良い場所だと思っているのだと思います。なので、それ
を知ってもらえるように情報発信をすることや観光やイベントを催すといったことをし、稲敷
の四季折々の年間を通じた良さを出来るだけたくさんの人に知っていただくとこの稲敷
を私たち以外にも、外の人たちにも好きになってもらえるのではないかと、というのが私
たちが考えたポイントです。そういった三つのポイントから、安心で安全で環境の良いほっと
する町、そして心の豊かさを味わえるような稲敷が10年後に残っていたら、というのが私
たちの結論です。以上です。ありがとうございました。

司会：どうもありがとうございました。あまり時間の余裕はありませんが、少し質疑の時間とい
うことで、聞いてみたいということがございましたらどうぞ。

質問者 A：私たちの班でも自然の話が出ました。しかし、自然環境が豊かなほど日本中の人口が減少しているという現実もあります。

ただ、私たちの班では子育てや教育の話はあまり話題にならなかった為、意識不足だったと感じました。ありがとうございました。

1班：今日、一班の皆さんとこうしてお話をさせていただいて非常に勉強になることが山ほどありました。もし可能なら、こうして討議する場を稲敷市の職員の方には定期的を開いていただければ有難いです。意見交換をするというのは、目標を決めて話し合うことも大事ですが、話し合うということに意味があると思います。ですので、そういう機会をたくさん作っていただけると市民としては有難いです。ありがとうございます。

司会：ありがとうございます。

副市長：今色々とお話をして感じたのですが、稲敷は四地区あるのですがもう既に稲敷は一つなので、皆さん一丸となって稲敷のために色々なアイディアを出して頑張っていきましょう。よろしく願いいたします。

< 2班 >

Aさん：それでは二班の発表を始めたいと思います。よろしく願いいたします。二班は熱い議論の末、この結果に辿り着きました。まず、稲敷で豊かに暮らすために食材などの地域資源を上手に使うことが大切です。何故ならお金(雇用)や地域資源を知ってもらう PR を進めることが大切だからです。そのために、これらに取り組む若者を応援することが必要だという結論が出ました。一方、より豊かな暮らしをするために、本物の稲敷らしいモノにすることが必要です。なぜなら、地域の自身や活力につながるからです。そして自分たちが豊かな暮らしを実現させるために稲敷のことについて積極的にかかわるようにしていきたいと思います。この結果に至るまでに、こういった意見も出ました。

Bさん：まず、私たちが議論を重ねた結果、稲敷で豊かに暮らすためには3つの要素が必要だという結果になりました。まず「交通の立地」です。都心から近いというのが一つの利点に上げられるという結論になりました。そして二つ目が「食と自然」です。食と自然というのは、自然が豊かなこの町で育まれる農産物がとても魅力的だということでこの結論に至りました。三つ目は「コミュニティ」の活性化というところです。この地域は人とのかかわりが非常に密であり、世代を超えた人とのつながりによって非常に豊かさを感じられるという点からこの要素を挙げました。この三つの要素を元に議論を進めました。そこで上がったのが農産物や農産物を活かした特産物の加工というものに重点を置くことが重要だという話です。人とのコミュニティ、人とのつながりというのはある程度もう既に仕上がっているもので、重要なものだと皆さん受け入れていると思います。ならば、さらに稲敷を良くする、活かしたいといった話になるときに、私たちはどこに力を入れるべきなのかというところでやはり、農産物を使った特産品、全国に発信できるものがまだこれだと言えるものが無いということで、そこに力を入れるべきだという結論に至りました。また、人の力で PR していくことが必要だと思います。

今回話し合いを設けていただいて感じたことが、世代間を越えたこのような意見の場で色々な意見を交わすことによって積極的な取り組みができるのではないかと、と思います。これからも地域の自信や活力に繋げる為に積極的に市民全体で話し合いを持ち関わるのが大事だなどと思いました。以上です。

司会：どうもありがとうございました。先ほどと同じく、質疑ございましたらいかがでしょうか？
質問者 B：色々な私たちのグループでも議論が出たのですが、よくテレビで出演される東進塾の先生ではありませんが、いつやるのか今だ、と思うのです。今やらなければ10年後もやりませんので、もっと言葉だけでなく行動に出来れば皆さんよろしいのではないかと思います。

<三班>

Aさん：よろしくお願いします。三班の発表始めさせていただきます。先ほど二班の発表であったとかなり酷似した結果になっているのですが、私たちは稲敷市で暮らしていく三つの主旨として「食」「自然資源」「コミュニティ力」という三つの軸が議論の末出てきました。これは市の内側に住んでいる人から外に広がるという認識でした。稲敷市で豊かに暮らすために、恵まれた資源を守っていくことが大切です。この恵まれた資源というのが見て楽しむ火大会だったり、広い公園でしたり、遊ぶ資源でしたり、特産品などといった食べる資源などのことを言っています。それがなぜ大切か、といえは活かされなければもったいないからです。そのために稲敷市にある恵まれた資源の再認識・再利用が必要です。一方で、より豊かな暮らしをするために、まず稲敷市民が市のことをもっと知っていく必要があります。なぜなら、市のことを知る機会が少ないからです。私にも豊かな暮らしを実現させるために、まず、一歩ふみだして「参加」してみることができます。これに補足をさせていただきます。

Bさん：皆様お疲れ様でした。補足とかまとめのような、個人的な感想のようなものになります。やはり僕たちに出来ることは「参加」なのかなと思いました。やはり色々な話が出て皆さん思い思いの意見があり、考えていることがあるのだなと思いました。皆さん、最初にこのアンケートが来たときにどう思いましたか？二千人の中から無作為に抽出されて。僕は非常に嬉しかったです。こういったことに携われるということ、そしてワークショップに参加できるという話がきて非常に嬉しかったです。皆さんもそういった想いがあると思います。僕の場合はもったいないという想が一番あったので、こうした思いは知っていること、知らないことを共有することで魅力を増やすということでもあると思います。最初の概要でこのアンケートの回答率が33.7パーセントだときいて皆さんどう思いましたか？僕は悲しいという気持ちが強かったです。稲敷市、皆さんはそんなに好きではないのかと思いました。しかし今日ここに来ている皆さんや僕のような人がもっと増えれば、人口や住みたいという方ももっと増えると思います。だからまず「参加」すること。僕たちから働きかけることが大切なのではないか、と三班の皆さんとお話させて頂き、感じさせられました。三班の発表は以上です。

<四班>

A さん：それでは皆様本日大変お疲れ様でした。おひとり、四班の発表をさせていただきます。よろしくお願いたします。私たち四班は六名で話し合いを行いました。要素としては稲敷市の豊かさを示すものとして自然に恵まれていることや子育て、コミュニティがよいなども出たのですが、私たちが考えたことはまず、自分たちで住んでいる人達が豊かに暮らすために、ということと更に外の人達を呼び込んで豊かに暮らすために、という二つの視点から考えました。まず、今いる実際に稲敷市で暮らしている私達が豊かに暮らすためにはやはり人、コミュニティが大切だということになりました。何故かというと、人とコミュニティが生き生きしているところであれば皆が安心して住み続けられますし、次世代の子供達が豊かに育つからです。そのために不足している部分、稲敷市にないものは積極的に人が交流できるような場が少なくなっているという話が出ました。例えば、コミュニティが活性化できるようにする為には市民プールやお風呂だとか、集う場をもっと設けるということが挙げられました。次に、一方より豊かに暮らすというためにということで、現在住んでいる私達が豊かであることが大事ではあるのですが、経済的に豊かでないと心が豊かでなくなるかもしれない可能性があるのも、より豊かな暮らしをするために積極的に内外に発信していくことが必要だと思いました。なぜ発信が必要かと言うと、先ほども申し上げましたが稲敷市には非常によいところがたくさんあります。それを発信していくことが次に繋がるのではないかと話になりました。発信が必要なのは稲敷市のよさを活かすことができるから。外の方達に稲敷市のよさを発信するのも大切なのですが、私が個人的に思ったことは今日この会にお呼びいただいて私自身が稲敷市のよさを知らないということに気が付かされました。発信は稲敷市の外だけではなく、自分達現在住んでいる人達にももう少し稲敷市の良さが伝わるように、またこういったものが不足しているから皆さん助けてくださいといったような発信も必要だと思いました。PR というのがこれからのキーワードになっていくのではないかと思います。まず一人一人が出来ることはもちろん発信を受けて稲敷市にもっと関心を持つことも必要だと思いますし、今私達は IT 世代に入っているわけですが Facebook や twitter といったシステムがあると思います。そういった SNS を利用して、身近な知り合いに積極的に稲敷市の魅力や足りない部分、こうしてほしいということを皆さんがしていけばよいのではないかと思います。皆さん非常に謙虚ですが、もっと良いところを積極的に一人一人が発信していけばもっと豊かになるのではないかと考えます。

司会：ありがとうございました。何かございましたらどうぞ。

四班 B さん：今発表していただいた女性の方、非常に話し上手だったので僕は何も言うことありません。ただ、一言言わせていただければ、ここにある問題は僕らの問題でありますし、住民や市民全体の問題であると同時に、次世代、これから産まれてくる子供達、次代に育つ児童生徒含めて東京へ出て行った人をどうにか呼び戻そうと考えています。四班までの中で全て出ているのはコミュニティと子育てです。これはなんとしても頑張りたいと思いますのでよろしくお願いたします。

四班 A さん：もう一つ。発信というところなのですが、発信をすることによって外からの企業を呼び込むといった効果もあると思うのですが、自分達が稲敷市の良さを再確認することによ

て今度は自分達が起業していきたいという人が出てくると考えます。そういった点で発信は重要なポイントになるのではないかと思うので、ぜひ発信というところにお金を使ってほしいと思います。

司会：ありがとうございました。何か質問ございますか？

司会：よろしいでしょうか。それでは四つの班の発表を終了させていただきたいと思います。それでは本日のワークショップ終了になります。

<講評>

司会 B：素晴らしいお話と本当に良い発表を素晴らしい言葉でいただきました。ありがとうございました。本日来ていただいております、副市長から講評させていただきます。

副市長：皆さん大変お疲れ様でした。最後講評ということでしたが皆さん本当に素晴らしい発表で感動しておりました。講評というのは大変おこがましいので、感想ということで述べさせていただきます。本当ならいっぱい話すべきなのですが、何が良い悪いということはありませんので全体的な感想をさせていただきます。まず四班の話と重複してしまうのですが、全体的にコミュニティといった言葉が多く出ていまして個人的に意外に思いました。

しかし人と人のつながりやコミュニティといったものは大切なのだと考えさせられました。こういう場を開いてどうなのかと思っていましたが、皆さん最初から最後まで本当に熱心なお話をされていて、本当にこういった皆で集まって稲敷の将来をどうしたらいいかということを考えることが一番大切なのか、と思いました。本日は外にいて参加できなかったのが非常に残念なので、最後申し訳ないのですが、皆さんの意見を聞いた上で私のテーマについて少しだけお話させていただきたいと思います。個人的な、ということでお話したいのですが自己紹介なのですが内田と申しまして、私東京で生まれ東京で育ちまして東京で仕事、就職をしました。ある時、行方市に素敵なお女性の方がいらっしやいまして、引っ張られてこちらにきて25のときに結婚して行方市に来まして、茨城県庁のほうに転職しました。ずっと県庁で仕事をしてきたのですが、ちょうど平成15年ごろまだ合併する前、この地域で合併の協議というのが始まりました。そのころ四つの町長さん村長さんから合併の協議があるから少し手伝ってほしいということで私がここにきて、ちょうど二年間こちらのお手伝いをさせていただいたというのが稲敷市に始めて来た時です。17年の三月に合併が終わってすぐ県庁に戻ったのですが、それからずっと県のほうで仕事をしまして、去年の田口市長が県のほうから副市長がほしいという話があってそこで私が昨年四月からこちらに副市長として稲敷市で仕事をさせて頂いているというのが私の自己紹介になります。稲敷市の良いところ、皆さんにたくさん色々なお話していただきましたが皆さんの意見を聞いた上で私が稲敷市で一番いいなと思ったのは人が温かいところ。これが、私が稲敷市で一番いいなと感じるところです。10年前合併のお話をいただいて来たときも感じたことですが、昨年四月に戻ったときも全くそのことが変わらず、本当に稲敷市の人は温かくて、稲敷市自体も温かい市なのだと感じました。それは何故なのかと考えて基本的に豊かだからなのかと思います。今日豊かな話というのがたくさん出ましたが、ベースにあるもの、自然が豊か、土地が豊かで水が豊かで食べ物も美味しく豊か。星がきれいという話もありましたがそういうベースにあるものが非常に豊かだから住んでいる人も豊かなのかなというのが、一番いいと感じた

ところですが、今日のテーマ、稲敷市が豊かに暮らす為に私も三つだけ話をしたいと思うのですが、まず一点、ベースとなるいいところ。皆さんピンクで書いていただきましたが、こういった「稲敷市の良いところ」をきちんと守っていくこと。これがまずベースにあって大切なところなのかなと今日皆さんの意見を感じて思いました。ただそれだけでは発展も活性がありませんので、二点目としましては「稲敷市の足りないところ」。今日皆さんに青い付箋で書いていただいたところ。これをどういった風に改善していくのか。なかなか全てを改善するのは難しいとは思いますが、少しでも多く稲敷市の足りないところを、皆さんが望んでいるところを、少しでも多く改善していくことが大切なのかなと思います。そのためどうしたらいいかという、人だと思のです。人というのは、まず市役所の職員の質を上げて、少しでも前向きに色々なことをやっていくというそういうことが大切ですし、市民一人一人が出来ることが出来ることをすることも大変必要ですし、市民の皆様がやっていこうとすることをやりやすくするというのも市役所の仕事かなと思っています。三点目はなかなか難しいかもしれませんが、市役所で仕事をする、色々な年代の方がいます。色々な立場の方もいます。今日は健康な元気な皆さんが集まっていますが、健康でない方もいらっしゃいますし障害を持っている方もいらっしゃいます。予算も限られているので皆さんが望むことが全部出来るわけではないところがなかなか非常に難しいところで、お金の話をしてしまうと稲敷市はあまり財政的にもよくなく、良いとは言えない所なのでこの辺も難しいところなのですが、どうしたらいいのかという、今日みたいな会議、皆さんの意見を聞き入れてよりよくしていくということだと思います。一斑の方が言っていますがこういう場で、皆が稲敷市の将来のことをどうしたらいいかそういうことを考えることが大切なことなのかな、と思います。今日皆さんにいただいた意見はこれから作っていく総合計画に活かしていきたいと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。本当に今日はありがとうございました。